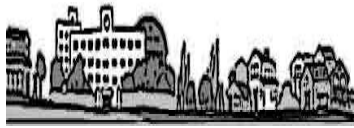




浜ぼうふう



～人，まち，自然が私たちの学校～

太夫浜小学校だより
令和3年5月14日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

「グッドルーザー」であること

校長 野瀬 浩司

大型連休も終わり，学校では22日（土）の運動会に向けて種目練習や係の仕事などに熱が入っています。すでにプログラムや感染症対策の文書が配られましたが，今年度も種目を制限しての半日開催とし，応援席でのマスク着用や手洗いの徹底，来校者へのアルコール消毒液の準備等の対応をしていきます。



保護者の皆様からも，子どもたちへの励ましの言葉と当日の盛大な拍手をお願いいたします。

さて，運動つながりの話題を一つ。スポーツの世界では，昔から「グッドルーザー（Good loser）」という考え方があると言います。日本のプロスポーツ，Jリーグ（サッカー）やBリーグ（バスケット）の創設に尽力した川淵三郎氏も，ことあるごとに「グッドルーザー（よい敗者）であれ！」という話を選手たちにしてきたそうです。

つまり，「**スポーツにおいて，勝負に負けたときの態度はとても大事だ。負けた時に素直に負けを認め，相手を称え，必要以上に意気消沈したり卑下したりせず，次の試合（戦い）に備える（闘志を燃やす）人が真のスポーツマンだ**」ということでしょう。川淵氏は，日本開催のラグビーW杯の表彰式で，銀メダルをもらった選手たちが，すぐに首から外してしまった行為に，「勝つことが全てで，負けには価値がないと言っているかのような態度だ。それでは，銅メダルのチームや負けた全てのチームに失礼であり，断固として許せない」と述べています。

一流のスポーツ選手であれば，マスコミや世間からの注目度も高くなるので，なおさら「子どもたちが憧れる存在，子どもたちの模範となる存在であってほしい」と，私も思います。

学校の話に戻ります。運動会では，団体種目や選手リレーなど思い入れの強い競技で負けた時，文句や負け惜しみを言いたくなる場面もあるかもしれません。でも，お互いのがんばりを称え合う拍手や言葉の方が，ずっと気持ちいいことを，みんな知っています。「グッドルーザー」は，スポーツはもちろん，学校生活全般で，子どもたちに身に付けてほしい考え方・態度です。



運動会当日も，堂々とした「グッドルーザー」に会えることを期待しています。